

学会便り 第135回秋期大会報告

第35回「若手の会」および「若手育成のための合同会合」 Meeting report on “The 35th youth meeting” and “Associated meeting for youth development”

中西 英貴
Hidetaka NAKANISHI

1. 若手の会第35回会合

芝浦工業大学の豊洲キャンパスにおいて開催された、軽金属学会第135回秋期大会3日目の昼食時間（2018年11月11日(日)、12:10~13:10）に、若手の会第35回会合を開催しました。今回は、大学側16名、会社側15名の合計31名が参加しました。

6名を1グループとして机を配置し、昼食のお弁当を食べながら懇談しました。席には自由に座っていただき、各テーブルで名刺交換が行われた後、学生と大学や企業の若手研究者の間で自己紹介や趣味、研究、そして仕事の話などで和やかな雰囲気となりました。

しばらくの懇談の後、今回の話題提供として、室蘭工業大学の佐々木大地先生から自己紹介と研究内容についてお話し頂きました。佐々木先生は金属の腐食反応を利用して様々な化合物の生成にチャレンジされており、腐食反応を逆手に取ったアイデアには感銘を受けました。将来的には宝石の生成まで可能ではないかというお話でした。また、研究内容だけではなく、室蘭や北海道の紹介を頂きました。北海道の広さや雪との付き合い方、室蘭工大のマスコットのムロぴんのお話まで伺いました。研究内容から生活の話まで、幅広く話題提供頂き、参加した皆さんも大変興味深く聴講できたのではないかと思います（図1）。

最後に会場の準備や昼食の手配等にご尽力いただきました第135回秋期大会実行委員の芝浦工業大学の皆様に厚く御礼申し上げます。

2. 若手育成のための合同会合

大会初日の11月9日(金)19時から、豊洲駅前の居酒屋で若手育成のための合同会合を開催しました。学生1名、大学側から2名、企業側から9名の合計12名が参加しました。次回の富山大学ではより多くの学生の方の参加をお待ちしています。

合同会合では、豊洲市場に近いこともあり、美味しい海鮮を楽しみながら、研究だけでなく趣味やスポーツ、地元の話などで大いに盛り上がり、親睦を深めました（図2）。

若手の会では若手交流の場を提供できる企画を考えていきたいと思っています。若手の会の活動内容に対して、ご意



図1 若手の会 第35回会合



図2 若手育成のための合同会合

見・ご希望等ございましたら些細なことでも構いませんので下記の若手の会メールアドレスまでご連絡ください。皆様の声をお待ちしています。

若手の会メールアドレス：keikinwakate@gmail.com

若手の会世話人：千葉工業大学	寺田 大将
室蘭工業大学	佐々木 大地
日本軽金属株式会社	清水 裕太
株式会社UACJ	中西 英貴(文責)